

2022 年産水稻の生育状況

普通期： 移植 40 日後の草丈は ‘あきたこまち’ ‘ヒノヒカリ’ ‘にこまる’ で平年より高かった。茎数は ‘ヒノヒカリ’ ‘にこまる’ ‘ひめの凜’ で平年より多く、葉色は ‘あきたこまち’ ‘ヒノヒカリ’ ‘にこまる’ で平年より濃かった。

※愛媛県農林水産研究所における水稻の生育観測結果です。

2022 年産水稻の作況試験生育調査結果（8 月 1 日現在）

< 普通期 >

耕種概要 （ 移 植： 6 月 16 日、 稚苗 3 本植、 栽植密度 15.2 株/m²（30cm×22cm）
 施肥量： 基肥 窒素 6 kg/10a、 穂肥 窒素 4 kg/10a ）

表 1 水稻作況調査データ(普通期)

項 目 (調査日)	あきたこまち		ヒノヒカリ		にこまる		ひめの凜		
	2022年	平年値	2022年	平年値	2022年	平年値	2022年	2019~20年	
移植30日後 (7月15日)	草丈(cm)	55.5	49.9	51.1	46.6	56.3	54.6	46.3	45.6
	茎数(本/m ²)	280	246	432	282	468	313	419	285
	葉色(SPAD値)	44.5	42.7	42.8	41.9	41	37.4	39.7	41.6
移植40日後 (7月25日)	草丈(cm)	77.9	72.8	73.4	63.7	82.7	72.7	66.3	62.0
	茎数(本/m ²)	305	296	419	351	416	352	390	354
	葉色(SPAD値)	43.6	41.4	40.7	39.0	39.4	37.0	36.3	37.2
移植50日後	草丈(cm)	-	-	-	75.2	-	83.1	-	72.5
	茎数(本/m ²)	-	-	-	344	-	354	-	360.2
	葉色(SPAD値)	-	-	-	35.2	-	33.7	-	33.1
出穂期	草丈(cm)	-	103.8	-	106.6	-	117.7	-	107.3
	茎数(本/m ²)	-	305	-	313	-	291	-	317
	葉色(SPAD値)	-	39.3	-	35.5	-	36.8	-	37.0
幼穂形成始期	7/21	7/22	-	8/4	-	8/7	-	8/7	
出穂期	-	8/7	-	8/25	-	8/28	-	8/28	
成熟期	-	9/12	-	10/4	-	10/7	-	10/5	
稈長(cm)	-	86	-	83	-	89	-	83	
穂長(cm)	-	20.0	-	20.2	-	20.2	-	21.3	
穂数(本/m ²)	-	302	-	329	-	294	-	315	
1穂粒数	-	93	-	95	-	99	-	85	
登熟歩合	-	72	-	73	-	79	-	75	
千粒重(g)	-	22.7	-	21.9	-	23.0	-	23.2	
精玄米重(kg/a)	-	49.3	-	53.3	-	57.6	-	54.4	
玄米タンパク含有率(%)	-	7.4	-	7.1	-	6.7	-	6.6	
整粒割合	-	78	-	74	-	71	-	79	
検査等級	-	1.8	-	1.5	-	1.4	-	1.3	
倒伏程度	-	0.3	-	0.2	-	0.3	-	0.0	

※平年は過去 5 年（2017～2021 年）の平均値。2016～2018、2020、2021 年の窒素施用量(10a)は基肥 6 kg、穂肥 4 kg。
 2019 年のみ基肥 4 kg、穂肥 4 kg 施用。ひめの凜は 2019 年度から調査開始。
 あきたこまちは移植 50 日後調査は出穂期に相当。